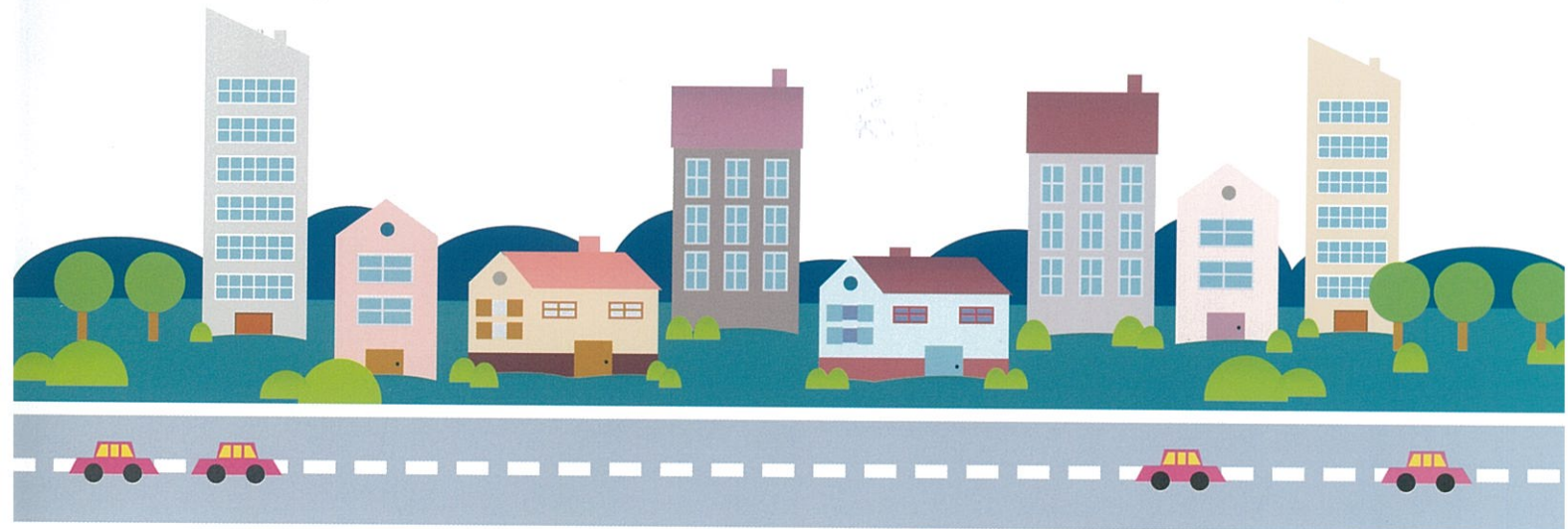


埼玉住み心地の

第11回

良いまち大賞

入賞作品集



 埼玉県住まいづくり協議会

良いまちづくり推進委員会



埼玉県知事賞

皆川 由樹 白岡 ～伝統のある祭 特集～

◆審査委員長講評

お祭りを題材として白岡市のまちを紹介しています。観光化されていない小さなお祭りを紹介し、地元の人でもよく知らないことを上手にまとめ、大切なお祭りを末永く残していこうという気持ちを感じました。また、作品中のお神輿や獅子舞の表現もとても上手に描かれていると感心いたしました。



埼玉県教育委員会教育長賞

平松 功至 国際色豊かな蕨市

国名	人数	割合	国籍	人数	割合
中国	2442	20.7	韓国	11	0.1
ベトナム	1314	11.1	タイ	7	0.06
インドネシア	1070	9.1	台湾	5	0.04
フィリピン	834	7.1	アメリカ	4	0.03
ペルー	714	6.0	フランス	3	0.02
ブラジル	634	5.4	ドイツ	2	0.02
インド	554	4.7	韓国	2	0.02
タイ	474	4.0	中国	2	0.02
アメリカ	394	3.3	ベトナム	2	0.02
韓国	314	2.7	ベトナム	2	0.02
中国	234	2.0	中国	2	0.02
ベトナム	154	1.3	中国	2	0.02
インドネシア	74	0.6	中国	2	0.02

◆審査委員長講評

改めて蕨市には外国の方が多く住んでいるのだと認識させられました。作品中に国旗を並べるといった表現も世界中から蕨市に来ているのだと分かりとてもおもしろい。外国人にインタビューしているのも積極性を感じられます。これから、外国人といかに関わりを持っていくかを考えさせる非常に良い切り口の作品であると思いました。



埼玉県住まいづくり協議会会長賞



◆審査委員長講評

とてもよく丁寧に取材していると感じました。狭い町ではありますが、多くの場所を取材しており、地元のまちが好きなのだろうと思います。宮代町に住んでいる人でも知らないと思われる多くの情報が入っており感心いたしました。



岩橋 美蓮 STOP 少子化!! 子育てしやすい町 -TOZUKA-

審査委員長賞



◆審査委員長講評

子ども達の視点から少子化という課題を掘り下げて描いておりおもしろい。自分達の身近なところから少子化問題を考え、自分の足で保育園や幼稚園などの施設を調べて紹介しており、そういう積極性が素晴らしいと感じました。



優秀賞



石坂 莉音
デザインマンホール特集！
わたしのまち さいたま



前田 大輝
さいたま市10区
フラワーシンボル



渋沢 莉央子
自慢したい!!
木のある風景☆日進町



今井 美汐
大宮氷川神社



和田 愛加
遊びに来てね!!
イイとこいっぱい北浦和



前田 大輔
古き良き 商店街



荒川 ひかり
文化都市 浦和



岩田 直也
今に続く 浦和宿



岡崎 穂波
南区の坂道MAP



深堀 つづみ
南浦和公園MAP



優秀賞



木下 美羽
緑区の「緑」は・・・
埼玉の原風景



岩井 沙織
人形のまち岩槻



清水 花音
時薫るまち 小江戸 川越



山下 愛乃
遊べて学べて大満足!
蔵のまち川越



伊藤 名津芽
川越を自転車で走る



小林 友香
小江戸 川越 七福神めぐり



浜川 佳佑
暑さで結ぶ熱い絆
あついで熊谷へようこそ



栗原 英伸
日光御成道鳩ヶ谷宿歳時記



早船 雛妃
川口市
川口の歴史ある文化



岡田 葵
芭蕉が泊まった!? 粕壁宿

優秀賞



浅川 優心
鴻巣市 世界一の正四尺玉



高木 皓大
走 in 戸田



永田 拓渡
新座市歩道橋マップ



遠藤 玲央
豊かな自然環境に
めぐまれる蓮田



松崎 由衣
実はあった
坂戸市のコンナトコ!



高花 万妃
伝統ある幸手の祭



後藤 大輝
緑豊かな和紙の里・小川町



宮木 英奈
都会に一番近い農村
かわじま町



瀬戸口 春樹
みんなで学ぶ
ホンダエアポートと
桶川飛行学校



堀部 夏美
埼玉県内のナンバープレート



協賛企業賞



梅田 瑠貴
浦和イトコゴロ



久保田 梨子
浦和の歴史を探しに
Let's go!



石田 悠真
スポーツ大好きいたま市



頼高 希彩
まちの保育園



大河内 萌愛
見どころいっぱい大宮区



佐藤 涼
300年の時を越えて...
受け継がれる見沼の伝統



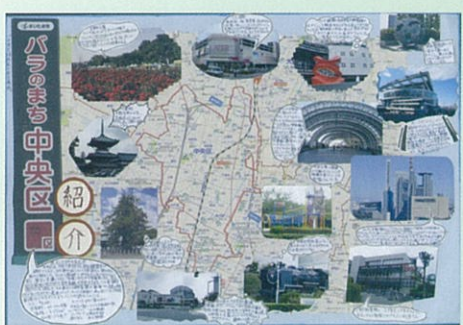
坂丸 海帆
都市の中の憩いの場、
見沼田園治



栗原 彩夏
幸せを運ぶまち「与野」



徳永 葉子
私の生活エリア八幡通り



塩井 里実
歴史と都市景観が
共存するまち、中央区



協賛企業賞



石井 みなみ
熱いぞ！町谷
まつりでつなぐ絆の輪



阿二 帆月
必見！北浦和公園の実力



小倉 瑞歩
緑道たくさん
北浦和駅東口



寺本 晴香
そうだ!!川越に行こう
川越小江戸



村田 美奈
由緒のある川口市



張 健
歴史が生きている町・鳩ヶ谷



田所 祐斗
何だか自動販売機が多い
神根東小学校付近



佐久間 未実
緑の公園 グリーンセンター



若山 みなみ
老舗と新しさが協和する町
ようこそグルメな行田市へ



瀬戸口 智樹
大好き学べる行田



協賛企業賞



飯田 明日香
緑と歴史の町 秩父市吉田



小達 夏輝
いいとこ見つけ！
所沢の歴史再発見



増田 瑠奈
加須おいしいうどん巡り



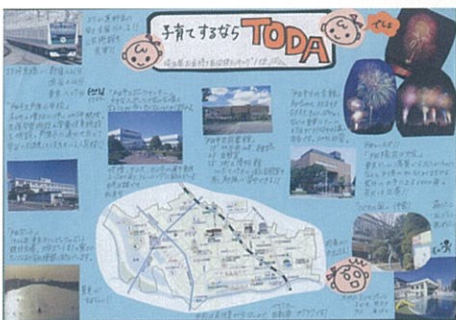
依田 唯花
春日部市の環境問題とは？



中本 廉
クレヨンしんちゃんだけじゃない!!
春日部 いろいろ案内



黒沼 未来
日本一たくさん鴻巣



佐藤 梨華
子育てにぴったり!! な
戸田市!



圓井 美優
見所たくさん 戸田公園



竹内 雪乃
おいしい! たのしい!
うつくしい! 蓮田市



八木橋 千乃
ここに歴史。
自然と歩む、白岡☆大山

埼玉住み心地の 第11回 良いまち大賞

審査委員長 講評

今年に行田市の田んぼアートがギネス世界記録に認定されたという大変喜ばしいニュースがありました。認定を目指してから5年、2度目の挑戦での悲願達成とのこと。現在は見頃の時期ということもあり、多くの観光客の方々が田んぼアートを見るため、行田市を訪れているそうです。今回のギネス認定により一層、多くの人たちに行田市が知られることとなったのではないのでしょうか。

今年度の応募作品の感想ですが、年々、作品がカラフルになり絵のレベルが上がっていると感じました。また、作品の切り口が多様化しており、気づかなかったけれども、おもしろい情報がまだ多く存在するのだと感心をいたしました。

第11回埼玉住み心地の良いまち大賞の応募件数は前年度を約600件も上回り、過去最多となる2,706点となりました。その中で、埼玉県知事賞に選ばれたのは、皆川由樹さん(中2)の「白岡～伝統のある祭り 特集～」です。また、埼玉県教育委員会教育長賞に、平松功至さん(中2)の「国際色豊かな蕨市」、協議会会長賞に、浦田日和さん(中2)の「I love Miyashiro」、そして、審査委員長賞には、岩橋美蓮さん(中2)の「STOP 少子化！子育てしやすい町ー TOZUKAー」が選ばれました。

また、優秀な作品を数多く出展くださった、さいたま市立大宮西中学校、埼玉大学教育学部附属中学校、川越市立初雁中学校に優秀団体賞が贈られることになりました。

埼玉県知事賞に選ばれた皆川さんの作品は、お祭りを題材として白岡市のまちを紹介しています。地元の小さなお祭りを紹介し、地元の人でもよく知らないことを上手にまとめ、大切なお祭りを末永く残していこうという気持ちを感じました。また作品中のお神輿や獅子舞の表現もとても上手に描かれているなと思いました。

皆川さんの作品のみならず、入選した作品の多くは、生活に密着したテーマを題材にしており、皆さんが住んでいるまちを歩き、良く調べているなと感じました。そのことで、まちの住みやすさなどを再発見し、自分達のまちをさらに好きになれることと思います。

埼玉住み心地の良いまち大賞は、平成17年の第1回目から今年の第11回までに、10,469点のご応募をいただきました。これは、埼玉が魅力あふれるところであることを示すものです。そして、なにより、作者が発見した「良いまち」を私たちに届けてくださる小学校、中学校の先生や親御様、協賛企業の皆様のご支援・ご協力があってこそその結果です。関係者の皆様には、深く感謝を申し上げますとともに、これからも、埼玉県住まいづくり協議会の活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成27年10月

埼玉新聞社 代表取締役
小川 秀樹

後援 埼玉県 埼玉県教育委員会

協賛



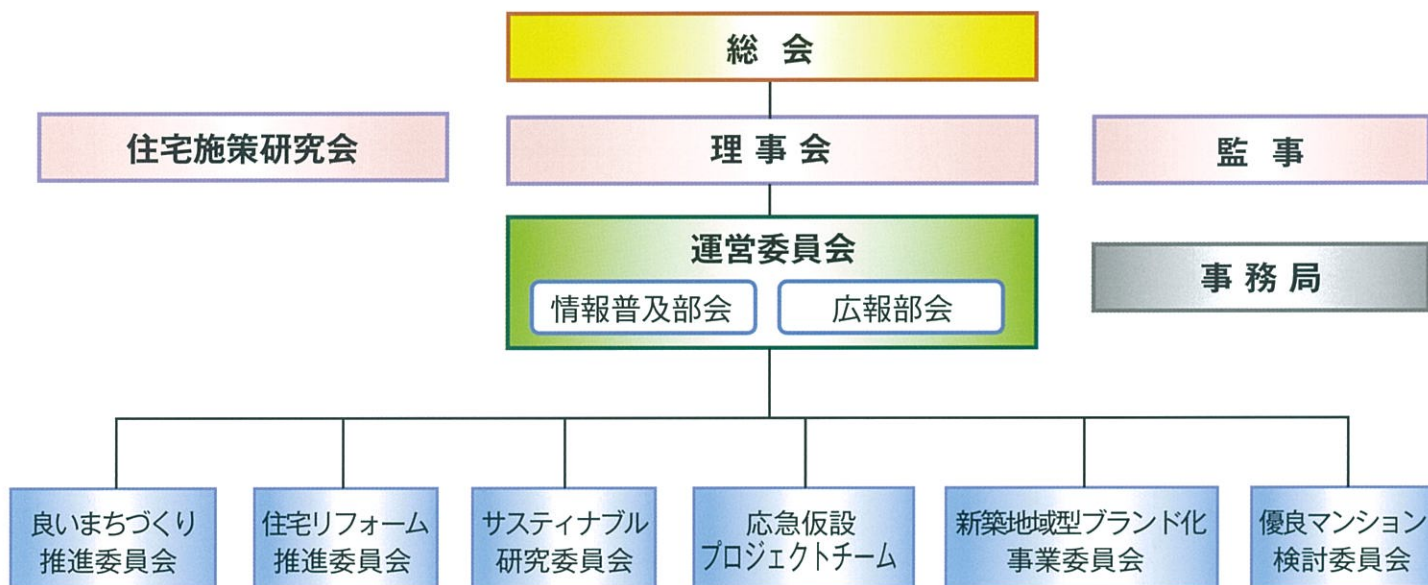
◆埼玉県住まいづくり協議会とは ～埼玉県の住宅産業の発展のために活動しています～

近年、住宅を取り巻く環境は時代の変化と共にその要請されるところが目まぐるしく変わってきています。我々住宅業界が自らその事業を果たして行くためには、その時代の変化を着実に捉え、その身を変えていく必要があります。

大災害への備えとして、当然、地震に強い住宅を開発しなければなりません。高齢社会が叫ばれるなら、住宅、住環境もこれを意図しなければなりませんし、また新しいビジネスのチャンスも多岐に渡ってきています。地球環境問題ではすでに省エネルギー、CO2削減への動きは周知であります、加えて創エネ、蓄エネもまた開発ポイントになってきています。少子化も確実な社会現象となっています。

これらに整合して住宅はどのような変化をみせるのでしょうか。また我々の地元埼玉には埼玉特有の問題もあります。こうした変化する社会に住宅はどのように変化するのでしょうか。自らもまた変化せざるを得なくなってきました。

埼玉県住まいづくり協議会は、行政・公益団体・民間企業が共にネットワークを持ち、互いに知見を持ち寄って、各々の発展、地域の発展、埼玉県民の安心・安全・快適な住宅、住環境の創造に寄与していこうとする活動です。我々会員のレベルを切磋琢磨して向上させることが最も重要な活動であり、ひいては埼玉県民の住環境に資するものと考えています。



◆埼玉住み心地の良いまち大賞とは

私たちが日常生活を営むうえで、その中心を成すのは「住まい」です。「住み心地の良いまち」とは、居住を目的とする住宅だけを指すものではなく、その周辺における環境や暮らし方も含めた多様なものです。県内にある「住み心地が良いと感じるまち」を発見し、その素晴らしさを発信していくことは、県内のまちをより良くすることにつながります。

そこで、埼玉県住まいづくり協議会では、県内の「住み心地の良いまち」について、写真や絵などで作成されたものを募集し、応募作品の中から優秀なものを表彰する「埼玉住み心地の良いまち大賞」を実施しております。

この賞を通じて、多くの県民の方々が自分達の身近にある、まちの良さを再発見するとともに、埼玉のまちの素晴らしさを発信してまいります。

埼玉住み心地の 第12回
良いまち大賞

作品募集

歴史のあるまち、自然が残るまち、安全なまち
あなたの目線で、「あなたの良いまち」を紹介してください。

応募締切 平成 28 年 9 月上旬

連絡先：埼玉県住まいづくり協議会事務局 TEL 048-830-0033

良いまち大賞

検索

